



さいきょうの
WordPress サイト構築フローとは

WordBench Kyoto 2017.04



小原 千秋

おぼら ちあき

元マークアップエンジニア。

現在はWebデザイナー(タマゴ)

WordCamp Kansai 2014/2015/2016 実行委員

WordBench Osaka 元モデレーター

人によっては当たり前の内容です。
当たり前じゃんって思ってもらえると
うれしいです。

大前提

ディレクターもデザイナーもエンジニアも
もっとコミュニケーションを取ろう！

という話です。

さいきょうのWordPressサイト構築フローとは

WordPressは入れるだけで
なんでもできるようになるツールではありません。
ただ、ベースが用意されているだけで
立派なシステム開発です。(持論)

例えるならプランターのようなもの。
どんな土を使うかも、
中になにを植えるかも決めるのは人です。
勝手にできたりしません。



さいきょうのWordPressサイト構築フローとは

ディレクター



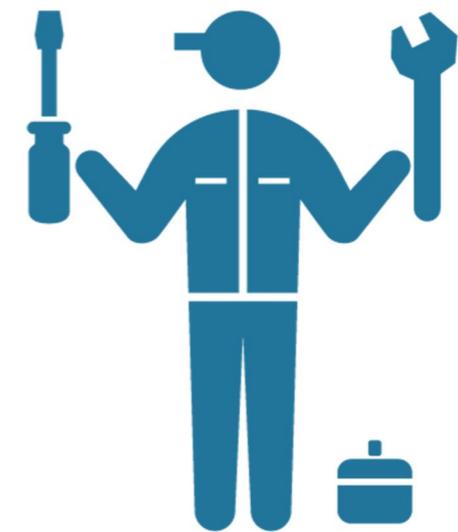
制作とクライアントの
かけ橋になるひと

デザイナー



仕様と要望をデザインに
おとしこむひと

エンジニア



デザインをソースで表現して、
仕様に沿ってWordPress化
するひと

さいきょうのWordPressサイト構築フローとは

一番大切なのは、**しっかりと仕様を固めること**

ばんくずの実装
おねがいします

(あのプラグイン
使えばいけるな)
はい



さいきょうのWordPressサイト構築フローとは

実装終わってからこういうのはやめましょう

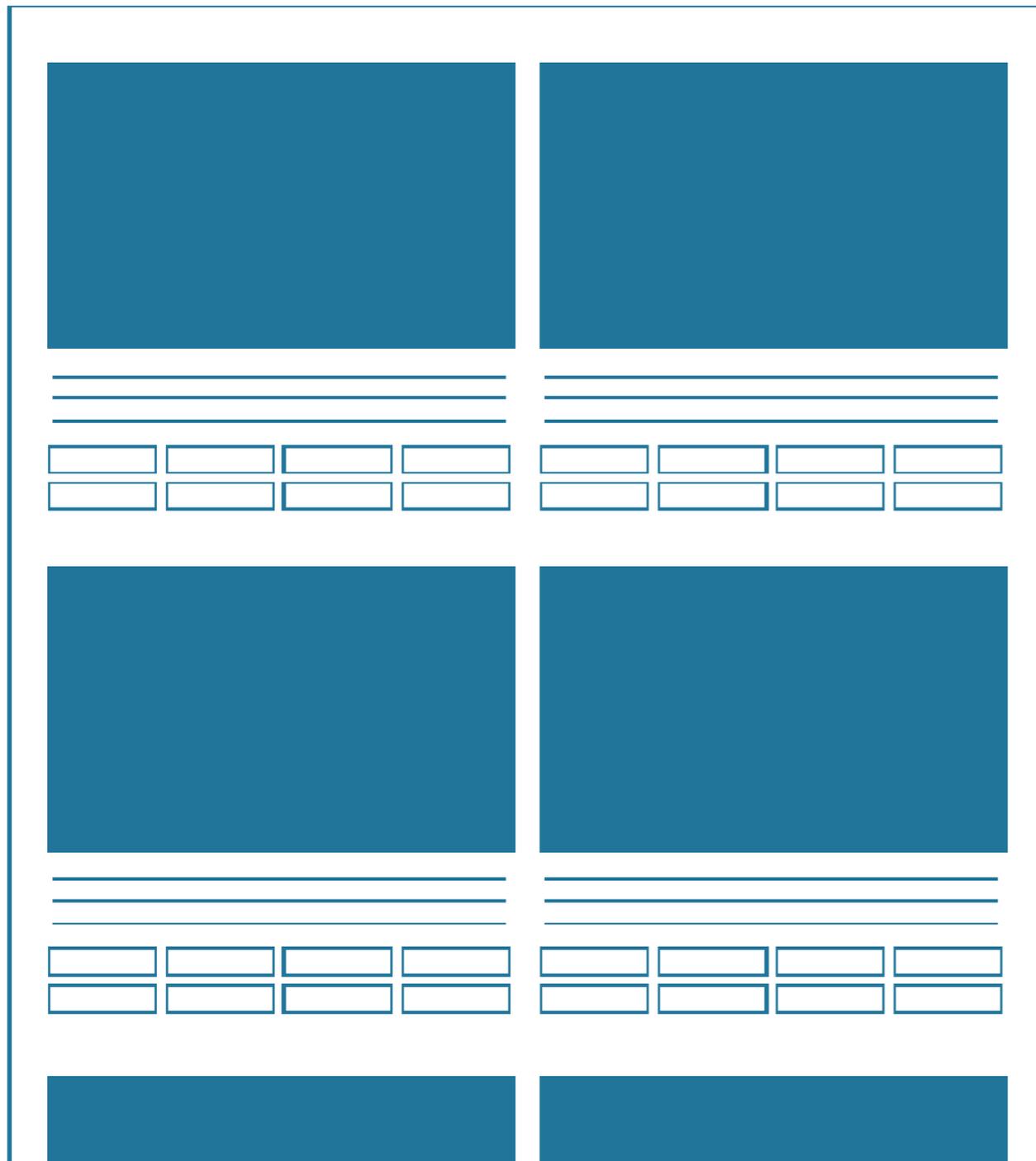
あ、このカテゴリー
だけ、ここに□□って
言葉入れてください

えっ



さいきょうのWordPressサイト構築フローとは

デザインができてから



よーい言われた要素
はめれたぞ!

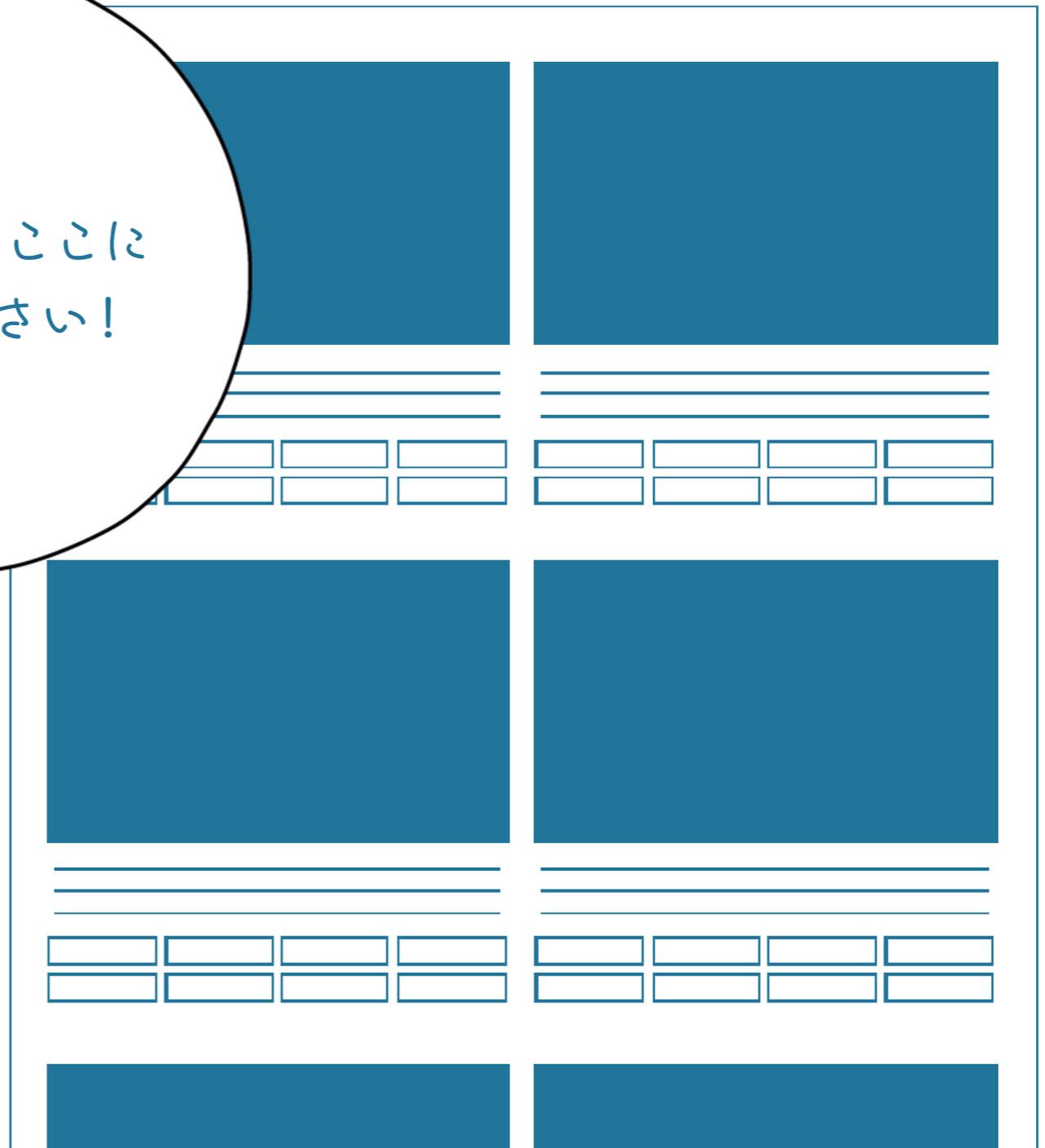
さいきょうのWordPressサイト構築フローとは

こういうのもやめましょう

後出しあたってっく



タグの一覧もここに
いれてください！



さいきょうのWordPressサイト構築フローとは

すべては初動が大事！

- **動的サイトであること**を意識する
- 細部まできちんと最初に仕様を決める
- 後出しの仕様は構築が始まるまでに！
- **追加の仕様は気軽に受けない。**

まず相談すること

最初の設計段階でチームをつくろう！

さいきょうのWordPressサイト構築フローとは

ユニットテストはとっても参考になります

The screenshot shows the GitHub repository page for 'jwordpressorg / theme-test-data-ja'. The repository is titled 'Japanese test data for WordPress' and has 10 commits, 2 branches, 1 release, 2 contributors, and is licensed under GPL-2.0. The latest commit is by 'tekapo' with the message 'delete duplicated hello world #1' on 5 Jan 2014. The repository contains files: LICENSE (Initial commit, 3 years ago), README.md (Readmeに文言追加, 3 years ago), and wordpress-theme-test-date-ja.xml (delete duplicated hello world #1, 3 years ago). The README.md content is as follows:

theme-test-data-ja

Japanese test data for WordPress

テーマユニットテストデータの日本語版です。

管理画面のツール->インポートの「WordPress」からインポートして使ってください。

テーマユニットテスト [WordPress Codex 日本語版ページ](#)

さいきょうのWordPressサイト構築フローとは

自分の領域が終わったら終わり、ではありません

ディレクター



ただ要望を制作に伝える
だけではありません

デザイナー



デザインFIXしたら
終わりではありません

エンジニア



コーディングをしたら
終わりではありません

さいきょうのWordPressサイト構築フローとは

せっかくチームで進めているので、
みんなで役割分担をしっかりとって
よりよい成果物をつくらう